



図書だより 2026 7月号

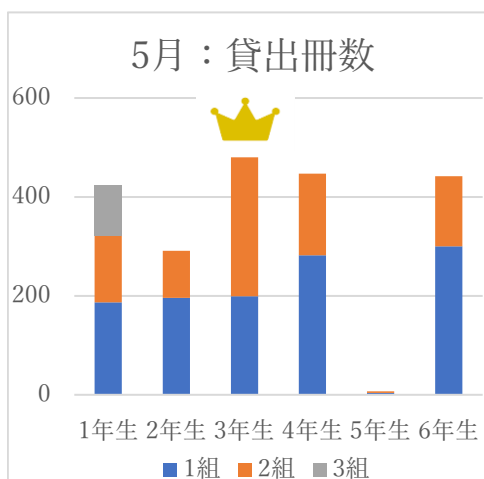


「梅雨晴れや ところどころに 蟻の道」 正岡子規(季語は梅雨晴れ)

梅雨が明け、心と足元に蟻の道ができていました。季節は夏に移ります。明治時代の俳人「正岡子規」は小さな風景からも季節を感じています。小さいものを大切に思う気持ちをもって何事にも取り組みましょう。暑い日が続くときは、図書室で本を読みましょう！

物語や図鑑、こども新聞などもあります。体だけではなく心にも栄養補給をしましょう！

5月の貸出ランキング



5月の1位は 3年生で480冊でした！また、クラス別では 6-1が300冊で1番多く借りていました。

6月の貸出ランキング(6/1～6/23)

1位の学年：6年生(665冊、一人平均9.9冊)

1位のクラス：6年1組(359冊)、

2位のクラス：2年1組(309冊)

★全体：2454冊(一人平均5.8冊)

～感想文・感想画の本を読もう！～

夏休みといえば読書感想文や感想画の宿題もありますね。「どの本を読めばいいの？」
「どうやって書けばいいの？」と、ちょっと心配な人も多いかもしれません。
でも大丈夫！図書室には課題図書はもちろん、感想文や感想画にぴったりの本がそろっています。どの本を選べばいいか悩むときは図書の先生に聞いてください！

★こんな本がおすすめ！

- ・感想文：心が動く話 → 友達や家族の話、命や勇気がテーマの本は、感じたことが書きやすい！
- ・感想画：場面がはっきりしていて想像しやすいのがポイント！

『たなからぼたもち』 作:くすのきしげのり 絵:澤野秋文(913)

おもいがけず幸運に恵まれることを「たなからぼたもち」といいます。本当にそんなことがあるのでしょうか？はたらかずぶらぶらしている「あんこや」の一人息子へ父親は「たなからぼたもち」をためそうと言ひ、棚の上にあげた「ぼたもち」が落ちてくるのを待つ実験が始まります。

ちゅうがくねんむ
中学年向け

『菜の子先生がやってきた！』 作:富安陽子 絵:YUJI(913)

学校のどこかにいるけれど、学校のどこにもいない、運が良ければ会える菜の子先生。困っている子の前に現れて、問題解決の道を教えてくれるようです。しづしづ、こわごわ先生に従う子供たち。だけれどまた会いたくなる菜の子先生。運が良ければ、学校のどこかで会えますよね！

こうがくねんむ
高学年向け

『二分間の冒険』 作:岡田淳

学校の体育館を抜け出した悟は黒猫に導かれ、異世界に迷い込みます。竜による謎解きに失敗すると若さを奪われる世界。竜を倒せるのか？元の世界に帰れるのか？謎解きや冒険などハラハラすることもたくさんあります。悟になって真実をつきとめてみませんか？

ぶんるい しゅうかん
分類ビンゴ週間

(6/22(月)~7/3(金)まで)

たくさんの参加で、本の分類を学び、「3冊券」や「しおり」を手に入れ、嬉しそうでした。これからもたくさんの本に触れてくださいね！



としょしつ
図書室からのお知らせ

●夏休みの間も本を借りておくことができます。
す。貸出最終日は7/16(木)です。

夏休み中は、本をなくしたり、破れたりしないようにていねいに持っておきましょう。

●熱中症の指数が高い日はグラウンドに赤旗が立って遊びに出られません。そんな時はぜひ図書室に本を探しに来てください。